

花きの県別生産出荷概況(3月見通し)

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		3月のピーク(%)			主産地
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
さくら	山形	促成	啓翁桜	12~4月 (12/下~3/上)	220 (105%)	200 (100%)	140 (107%)	45	40	15	県内全域
アルストロメリア	山形	周年	アバランジェ エベレスト レモン プッチーニ ピンクサブライズ レベッカ他	周年 (4~5月)	9.2 (96%)	615 (102%)	240 (107%)	30	30	40	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら
	茨城	施設	レベッカ, ド リームランド, シモナ, デボ ラ, マンゴー, オルガ 他	周年 (2月~4月)	8 100	150	100	30	40	30	土浦市 他
バラ	茨城	施設	ローテローゼ, ティケネ, パレ オ, ダーリン, オーシャンソ ング 他	周年	11 98	400	300	20	35	45	石岡市, 土浦 市, かすみが うら市, つくば市 他
	群馬	施設	アヴァランチェ サムライ 他	周年 (5~11月)	13.2 100%	580 100%	460 100%	30	35	35	前橋市 富岡市
	山梨	周年	ローテローゼ, サムライ等	周年 ()	2.5 100%	170 100%	150 100%	30	35	35	笛吹市 (御坂町)
	静岡	施設	サムライ アワア ン チャ パリ シンディ	周年 3-5月		1600 1	1200 1	30	35	35	JA掛川市 JA大井川 JAしみず JA遠州夢咲
	愛知	周年	サムライ08 レッドスター アワア ン チャ シンディ フレアー 他	4-3月 ()	-- (%)	2700 98%	1100	30	33	37	愛知みなみ ひまわり 豊橋 西三河
	大分	周年	Mシリーズ Jシリーズ その他各品 種	周年 ()	8 (100%)	80 (70%)	20 (70%)	25	35	40	玖珠九重 九重町飯田

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
さくら	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は、前年以上に花芽の着生が良好であるため、出荷量の増加を見込んでいたが、「ウソ」の飛来が前年より早く、出荷は前倒しとなっている。 ・3月の出荷量は前年並みが見込まれる。 	
アルストロメリア	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は、最低温度10～13℃で加温管理が行われていることから、概ね順調に推移している。 ・3月の出荷量は、全般に生育が良好なため、前年並みが見込まれる。 ・病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。 	<p>現状 低温の影響から各産地、生育が鈍く数量は横ばいであるものの、愛知、長野は徐々に増加傾向となった。業務、花束中心に安定した需要で、中値での取引となった。</p> <p>見通し</p>
	茨城	<ul style="list-style-type: none"> ・作柄は良好で出荷量は前年並みの見込み。 	<p>大田花き 日長が長くなり、気温も上がることから各産地増加し始める見込み。生育も早くなり、週を通してまとまった入荷となる。また、卒業、彼岸需要中心に引き合いがある見込み。840,000本 @80</p> <p>FAJ 歓送迎などで需要拡大傾向。出荷量も増加し、活発な取引となる見込み。</p>
			<p>東日本板橋花き 愛知、福島、青森、北海道中心の出荷。彼岸需要などで、動きがある。</p> <p>世田谷花き 増える見込み。需要には対応できるが、それ以上の数量出荷時の引き合いが、相場を決める</p> <p>第一花き</p>
バラ	茨城	<ul style="list-style-type: none"> ・品質は、ほぼ前年並みの見込み。 	<p>現状 フラワーバレンタイン需要により、赤、ダークピンク系の引き合いが強く、全体としても堅調な市況状況。プライダル需要はフェア中心の動きで、月中以降徐々に動き始める。入荷量が少ないため、安定した価格での取引が続く。</p> <p>見通し</p>
	群馬	<ul style="list-style-type: none"> 目立った病害虫も無く生育は順調。雪害からのハウス再建は、一部を残して概ね完了しており、年度内にはすべて完了する見込み。 	<p>大田花き 徐々にプライダル需要が動き始める見込み。卒業式、離任などの動きが月末にかけてみられる。入荷量は国産が大幅に増える見込みがなく、品薄が予想される。2,800,000本 @105</p>
	山梨	<ul style="list-style-type: none"> 生育は順調に推移している。出荷量は雪害で少なかった前年並の見込み。 	<p>FAJ 需要期に入り入荷量増加傾向。プライダル需要も出始め徐々に活発な取引に。</p>
	静岡	<ul style="list-style-type: none"> 産地よっての減増があるが、総体では横ばいの出荷状況が続いている。改植も入り少ない品種も出てくるがプライダルなどの需要時期に合わせた出荷体制をしていく。 	<p>東日本板橋花き 気温の上昇と共に入荷量は増える。卒業・年度末需要で引き合いは強まる。</p> <p>世田谷花き 入荷量も気温と共に徐々に増える見込み。卒業式・年度末の動きに期待。</p>
	愛知	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の上昇とともに出荷量は増加してくる予定だが、出荷サイクルなどを考慮すると3月全体の出荷量は昨年並みから昨年をやや下回る見込み。 ・生育状況は、大きな問題もなく順調に生育している。 	<p>第一花き</p>
	大分	<ul style="list-style-type: none"> 曇天が続いており、加温はしているものの出荷量が増加してくるのは中旬以降となる見通し。天候と加温の影響でハウス内湿度の高い状況となっており、病気の発生が心配されるため防除に取り組んでいる。 	

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	静岡	現状多い産地があるため先月よりも増加している。今後は大きく増加することもなくだらだらとした出荷となる。彼岸に向け秀品率の向上などに努めている。	<p>現状 各産地、厳寒期となり少な目の入荷が続いている。販売面ではバレンタインの需要もあつたことから前半は動きはあつたものの、中旬はやや落ち着き、月末には徐々に動き始めてくる。</p> <p>見通し</p>
	熊本	3月中旬(10日頃)から出荷数量が増加してくると思われる。一部で生育の遅れが見られる箇所もあるが、全体として春期出荷分は順調に推移している。また、品質については換気と温度管理により花シミ対策を行う。	<p>大田花き 各産地気温上昇とともに徐々に増加してくる見込み。販売に関しては卒業式、お彼岸、送別需要と中旬以降活発な取引が見込まれる。</p>
	大分	産地によっては終盤となるため全体的に少なめの出荷。佐伯では白系主体の出荷から品種変わりでピンク系の比率が高くなる。	<p>FAJ 需要期に入り活発な取引が見込まれる。輸入もまとまり全体の入荷量増量。</p>
	宮崎	9～10月の天候不順の影響を受けてか、例年より秀品率下がる(輪数少ない)が3月後半からは回復してくる見通し。生育は良好で草丈はある状況。	<p>東日本板橋花き 3月は台湾産のトルコは前進していた為、入荷少ない。国内産も2月の冷え込みで遅れている模様。</p> <p>世田谷花き 九州・静岡・北関東からの入荷が増える一方、台湾産の入荷は落ち着く。</p>
	沖縄	生育、花ボリュームとも良好で秀品が中心の出荷が見込まれる。	<p>第一花き</p>
小ギク	沖縄	今年度は前年度より2割程度作付が減少しているが、生育は順調に推移している。配色割合は黄：白：赤＝39：28：33となっている。	<p>現状 昨年の相場低迷に伴い作付量減の状況。その為、全体量少なく上旬・中旬については強い引き合いとなった。下旬は、数量がやや回復し、相場も落ち着き、堅調な販売が続く。</p> <p>見通し</p>
			<p>大田花き 上旬より数量増え、需要としてはお彼岸需要中心の動きとなる見通し。中旬以降については、大きな需要もなく、引き合いも落ち着く見込み。</p> <p>FAJ 沖縄を中心とした入荷。彼岸に向けて徐々に入荷量増加傾向。</p> <p>東日本板橋花き 彼岸需要での動き中心L50</p> <p>世田谷花き お彼岸用の注文を含め、入荷が増える。単価は入荷量次第だが、まちまちか。</p> <p>第一花き</p>
ストック	千葉	①3月出荷分の生育は順調で、平年並みの出荷量となる見込み。 ②スタンダード系品種はアイアン、スプレー系品種はカルテット中心。露地品種は彼岸王とファミリーシリーズ。	<p>現状 千葉神戸は昨年並みの出荷量となるも、西岬STは生育遅れ等が顕著に見られ大きく数量増えず。山形産も終盤。相場も昨年と比べると@10～20近く強い引き合いで、今月中はこの流れで推移する見込み。露地ストックは昨年並み。</p> <p>見通し</p>
		①極端な低温、高温はなく、生育は順調。出荷量は平年並みの見込み。 ②カルテットシリーズが中心。	<p>大田花き 彼岸向けに和歌山の露地ストックは順調。愛知は生産者減。ST、SPは千葉産は上旬より生育遅れ分が徐々に増加傾向。彼岸以降も数量は千葉産中心にある見込み。</p> <p>FAJ ほぼ昨年並みの入荷を予定。順調な生育が見込まれる。</p> <p>東日本板橋花き</p> <p>世田谷花き 台風後に植え替えた物が、大量に流通しそう。</p> <p>第一花き</p>